

# 福島民報

(19) 2012年(平成24年)2月8日(水曜日)

## 金沢大開発の新除染剤で実験

豊山



新除染剤を塗り、実証実験する関係者

放射性セシウムを剥がす新除染剤を金沢大の研究チームが開発し、七日から伊達市豊山町の小国ふれあいセンターで実証実験を始めた。

去る除染剤を研究した。この方法の場合、コンクリートを傷めずにする。

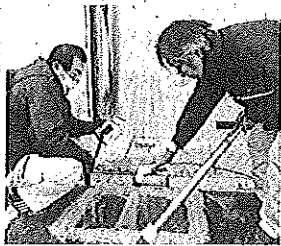
粉末の除染剤を水で溶き、ゲル化剤を混ぜ、粘着性を持たせる。コンクリートにはけで塗り、約十二時間後に水で取り除き、デッキブラシでこする。残った水は吸い上げ、別の除染剤で凝集沈殿させ回収する。事前の実験では70〜80％除去できたという。

研究チームの豊田剛史事務局長らが訪れ、比較的放射線量の高い雨どいの下など敷力所で実験を開始した。八日に太田富久教授らが実験結果を分析する。

2012年(平成24年)2月9日(木曜日)

## 新除染剤で線量大幅減

豊山の実証実験



線量が大幅に下がった実験

伊達市豊山町の小国ふれあいセンターで行われていた、金沢大の研究チームのセシウムを剥がす新除染剤の実証実験は八日に終了、放射線量が大幅に下がり効果が証明された。セシウムをイオン化させ除去する除染液を同大の太田富久教授ら六人の教授らが開発した。七日に、水で十倍に薄めた除染液を、ゲル化剤を混ぜ粘着性を持たせた上でコンクリートにはけで塗布した。十二時間後、少量の水をまき、デッキブラシでこすりながら吸引

し回収した。毎時四・八割ほどだったコンクリート表面の放射線量が除去後、一・七割まで低下。空間線量を考慮すると、90％以上取り除かれたことになる。水は別の除染剤で凝集沈殿させる。

豊田剛史同チーム事務局長らは「成功だった。今後、県や市、民間団体などに技術提供したい」と話している。問い合わせは同チーム 電話076(234)6888へ。